



こころの中を見つめよう 情愛を広げるために

勝浦ロータリークラブ

49期 THE WEEKLY REPORTS

2011-2012年度
No. 33 / Total 2329

例会：2012年5月18日

発行：2012年6月1日

RI会長 カルヤン・パネルジー

第2790地区ガバナー

山田 修平

第5分区ガバナー補佐

釜田 英之

第5分区幹事

池田 哲夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC

関 一憲

クラブ研修委員会

勝浦RC

齋藤 豊久

クラブ社会奉仕委員会

鋸南RC

三橋 美子

R財団寄付金小委員会

鴨川RC

伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長

関 正己

幹事

漆原 撰子

クラブ会報委員長

渡邊 昌俊

副委員長

齋藤 麻美子

委員

石井 美香子

渡邊 ヒロ子

◆6月1日のプログラム

クラブフォーラム

◆6月のプログラム

8日(金) クラブフォーラム

※以上、1年を振り返っての報告

15日(金) 休会

17日(日) 日帰り旅行(鎌倉・横浜)

22日(金) 卓話(関会長より)

那智勝浦RC姉妹クラブ締結の報告

29日(金) 家族夜間例会

●会長挨拶 関正己会長



今週火曜日、JCのOB会に猿田市長をお呼びして懇談会を行うとの事で、オブザーバーとして出席させていただきました。

それは他でもありません、勝浦市が那智勝浦町の災害に対し義捐金を送り、また那智勝浦町長がお礼に勝浦を訪問されたたとお聞きし、それでは何かと今後携わりがあろうかと、ご挨拶と、OBはもちろん現役JC役員も来られていましたので、ロータリーによろこそと宣伝をさせていただきました。

猿田市長に於かれまあしては、先般この壇上で語っていた事より更に政策を整え、意欲的に事を進めている様子で、後輩ながら私との出来の違いを感じさせられ、頼もしく誇りに思いました。二人の雑談の中でロータリーに触れ、ロータリーは外には発信しているが、肝心の地元社会での発信、つまりは存在感にかける。と苦言を言われました。少し酔ってからの話なので定かではありませんが、勝浦では今、小中学校で子供達の楽器が足らなくてこまっているのだと、今年度150万円の予算を組んだけれども、そう言うところに援助をされるともっと知名度も上がるのでは、と言っていました。

考え方です、優先順位としては、それよりもはるかに困っていて、いくら援助しても足りないくらいの子供たちが世界中に沢山いるわけですから。政治家の考えとは僅かですがギャップを感じました。ただ、今後この言葉には耳をそむけるわけにはいかないし、会員増強の意味からしても、勝浦RCの存在を示すためにも必要なのかなと思いました。

さて5月号のロータリーの友をお読みになって、皆さんお気づきの事と思いますが、「マイクロクレジットそして、ロータリアン行動グループ」という言葉が出てきました。皆さんご存知とは思いますが一応ウェブサイトから引き出した資料を各テーブルの上に於きましたので参考にしてください。

今日はこのロータリーの友についてと思いましたが、皆さんお読みになっていると思ひまして、懇談会のお話にいたしました。

●幹事報告 漆原摂子君

1. 国際R全国ガバナー会より、韓国との交流及び共同プロジェクトに関するアンケートが届きました。
2. 5/19 (土) 大原 RC 創立 50 周年記念例会へご出席の会員へ、登録料個人負担分¥3,000 は当日牧野会員が集金致します。
3. 5/22 (火) 3クラブ合同例会 勝浦の集合場所は勝浦市民駐車場前となります。また懇親会終了後はバスにて勝浦に戻ります。
来週 26 日 (金) 例会はこの例会に振替となり休会

●ニコニコBOX

○結婚記念日

◆関正夫君



お祝いありがとうございます。4月16日なもので、もう1か月以上経ってしまいました。確か40回目だったと思います。50回目は金婚式なので、その日までは何とか元気でいたいと思います。

◆西尾誠君



47年です。女房との会話もあまりしていませんが、アイコンタクトというより心で毎日過ごしています。

●バズセッション報告

○クラブ奉仕 (I)

◆中村昇理事



①次年度テーマ

2012年から2013年度のR Iテーマとしては「奉仕の実践を通じて平和を」というスローガンを掲げております。次年度の得居ガバナーエレクトは、地区委員数を削減し、地区委員会が相互に情報を共有、提携をし、「地区委員会クロスプロモーション活動」を展開していくという方針であって、奉仕の機会として知り合いを広めることや神木といった分野の基礎をしっかりと把握し、奉仕の理想を目指すロータリアンの仲間を増やすことがクラブ奉仕部門の大きな役目となります。

会員増強につきましては、2790地区でも依然として右肩下がりの傾向にあって、毎年50~60名の会員が減少しているのが実態です。また、特に年度後半にかけて減少が目立つという事実、確かに会員増強はロータリーにとって永遠の課題であり、重要な活動事項でもあります。会員増強は、志を同じくする者の仲間作りを強く意識しなければなりません。田仲作治R I会長エレクトは、先の国際大会において、会員増強について会員数だけを目標とすべきではありません。会員数を増やす目的の為だけに新入会員を入れてもロータリーは強固なものにはなりません。また、現在日本のロータリーが抱えている諸問題を解決し、30年後も日本のロータリーが繁栄し続けるためには女性比率を高め、若者が継続して入会活動できる組織に変革しなければなりません。日本全体で、今後会員候補となりうる一万人以上の元ロータリアンの方々に戻ってきていただければありがたいと思っております。しかも、奉仕活動を一生懸命に行ってもPRが、内向きであるため月刊誌「ロータリーの友」に掲載されるくらいで、その活動が世間に知られていないのが実態であります。

②日本のロータリーのSWOT分析結果が次のように示されております

「S」は、ストロングといい、「強み」ということを意味し、地域のリーダーの集まりでステータスが高いということや、貧困、識字率の向上、水と衛生などの問題に取り組む奉仕活動を推進しております。また、長い間、青少年交換活動もあり、日本では90年以上の歴史があります。

「W」は、ウィークといい、「弱い」ということを意味します。それは、平均年齢が高く、退会者が多い。また、男性中心の意識が強く、女性の入会に抵抗するクラブがあることや年会費が高すぎる、何をやっている組織なのか一般に知られていないのが現状です。

「O」は、オポチュニティーといい、「機会」ということを意味しています。それは、ロータリアンにふさわしい女性が多くいるのではないかと、もっとPRをやる余地があるのではないかと、更には世間でロータリー活動の重要性の認知度が上がれば奉仕団体として若者も入会しやすくなるのではないかと。

「T」は、スレッツといい、「脅威」ということを意味しています。それは、高齢者が多いため、年々会員数が減少していく上、退会者によって良くないデマ宣伝がされたり、また、高齢者は新しいものに着いていけない（例えばIT機器の取り扱いに不慣れ）など、ロータリアンの悪い風評を流すなどし、入会を阻む動きとなっているのではないのでしょうか。

③ロータリークラブは、アメリカでは社会学と言っており、決して親睦的活動ではないと言われますが、日本では会員維持のため、退会防止活動が最重要課題かつ急務であるとも言っております。確かに、このクラブ活動は、社会奉仕活動が主たる活動の柱の一つとなっておりますが、内的には会員相互が親睦を強めていかなければ会員維持どころが減少してしまう結果ともなりかねないものと考えております。

④ここで、「人が生きると言うこと」について以下の言葉を紹介させていただきますと、

人が生きるということは（誰かに借りをつくること）
誰かにしてもらったように（誰かにしてあげること）
人が生きるということは（誰かと手をつなぐこと）
そして、手の温もりを（忘れないでいくこと）
めぐり合い、愛し合い（別れた後に悔やまないように）
今日、明日を生きよう
人は一人では生きて行けない（人は一人で歩いて行けない）

ということが資料にも示されていましたが、要は人間は弱いものです。到底単独個人では生きて行けません。だから生きていくことの重要性は、他の人と手を携え、そして人の為になる活動、ひと（他人）が喜んでいただけることを自分の喜びとして受け止めることの出来る活動、即ち社会奉仕活動が益々重要かつ必要になってくるのではないのでしょうか。そのためにも一人でも多くの会員を募り、一緒に手を携えて、社会の為、ひと（他人）の為に活動できる喜びに邁進しようではありませんか。

○クラブ奉仕（Ⅱ）

◆池田哲夫理事



クラブ奉仕Ⅱは、出席とか親睦とかプログラムとか会報とか、普段の活動の基になるようなことをします。ロータリーは出席して、楽しいプログラムがあって、親睦を深めて、欠席したときは会報で確認して、そんな感じのクラブ奉仕Ⅱだと思います。

やはり一番大事なのが「出席」です。出席しないと何もわからないし、出席しているうちに親睦が深まってくし、プログラムも楽しい企画をしていただければ良いと思うし、会報にしても休んだ時に先週何があったのかなあと確認できるし、みんな連携していますので、取りまとめていきたいと思っております。

○職業奉仕

◆牧野利美理事



国際ロータリー第 2790 地区「2012 年地区協議会」にて 2012 - 2013 年度のガバナーの得居ガバナー・エレクトより 2012 - 2013 年度国際ロータリー田中 R I 会長の R I テーマ「奉仕を通じて平和を Peace Through Service」についての話のなかで、田中 R I 会長エレクトが、ロータリークラブに入会された後に、例会で職業奉仕についての話を聞いてから、自分が少しずつ変わっていった。収入や売り上げを増やすこと、自分の会社を他の会社よりも良くすることだけでなく、人として、職業人として、もっと良い、もっと高い目的を持って人生を送りたいと思うようになった。そしてそのために、他の人たちの役に立つことが、人生で最も大切だと思うようになり、更にどんな些細なことでも人を助けることが「平和」につながることに気づいた。「平和」は、人によって様々な意味を持っているが、どのような意味においても、ロータリーでそれを実現することができる。国や民族間の友情と寛容を推進することで、ロータリーは、最も伝統的な意味での「平和」、互いに理解し合う後押しをしてくれる。ロータリアンは、自分よりも、他の人のニーズを重視する。「超我の奉仕」という言葉は、自分のためだけではなく、社会全体のためを考えよと教えてくれる言葉である。そうすることで、より平和な世界を築くことができる。そこで、私は 2012 - 2013 年度のロータリーのテーマを、「奉仕を通じて平和を」と決定した。とテーマ講演で述べられました。

アドバイザー発言で土屋亮平パストガバナーも、職業奉仕を除く他の 4 大奉仕（クラブ、社会、国際、新世代）は奉仕する対象が明確に指示されています。これと異なり職業奉仕は、他を対象とする奉仕ではなく、自己の職業を対象とします。そもそも自己の職業には自分自身の日常の糧を得る面と自分が社会に貢献する面の 2 面があります。個人の職業上において、社会貢献が顕著であればあるほど、社会に認められ、その結果が事業の繁栄をもたらす事になります。その為には、「自己の職業に携わる姿勢は、常に忠実に励むこと。社会に対しては、常に誠実を尽くすこと。

これを実践する姿勢は、常に誇りをもって臨むこと」に尽きます。と言っておられます。2012 - 2013 年度国際ロータリー田中 R I 会長、2012 - 2013 第 2790 地区得居仁ガバナー、そして土屋亮平パストガバナーのお話を要約すれば、「ロータリーの目的は職業奉仕の推進にある」と言っても過言ではないと思われます。

〔活動方針〕

職業奉仕活動に責任をもち、職業奉仕小委員会の活動を円滑に実施できるように努力、調整をする。「ロータリーの目的は職業奉仕の推進にある」

〔活動計画〕

小委員会の立案、提案を確実に遂行できるように、プログラム委員会、理事会等にはかり、計画を実りあるように努める。

○社会奉仕

◆釜田英之理事



〔活動方針〕

会員はロータリーの定義、綱領の基、「入って学べ、出ては奉仕せよ」と学びます。ロータリアン全てが、その個人生活、事業活動及び社会生活で常に放恣の心を奨励し、地域社会に目を向けていきます。

〔活動計画〕

1. 50 周年への協力
2. 部門別 R I 会長賞の達成
3. 各委員会が連携し、活動計画を達成
4. 会員家族、地域内他団体と協力する

○国際奉仕

◆村石愛二理事



〔活動方針〕

今年度R I 会長田中作次氏の目標である「奉仕を通じて平和を」を実践すべく、自分たち、そして世界の為に変更する平和へ向けて活動して参ります。

〔活動計画〕

- ①地区では、青少年交換プログラムが新世代奉仕委員会に担当が移りましたが、本クラブに於いては今年度も本委員会が担当して参ります。
- ②次年度からスタートする「未来の夢計画」の研究。
- ③地元国際武道大学があるので、その留学生や地元へ派遣されているALTの先生達との交流を図る。
- ④ロータリー財団、ロータリー米山記念奨学会への寄付推進を図る。

○青少年交換

◆千葉正徳理事



8月後半に、迎え入れる留学生フィリップタカオ君ハワイマウイ島から来ます。それから派遣学生斉藤マリナさん、行く先はアメリカですが、そのどこかという事はまだ決まっていません。交換学生を預かる委員会、カウンセラーとして一番大事なことは、安全で健康でいてもらうこと。それには当然我々カウンセラーもメンバー皆様にご協力いただかなくては行けないんですが、更にホストファミリーの皆様にも、いかに安全で安心して彼が一年間過ごせるかを5月31日のホストファミリーをお願いする会議の中でもきちっと申し上げるつもりです。

◆古川範男会長エレクト総評

先日上野の国立科学博物館で開催されている「インカ帝国展—マチュピチュ「発見」100年」を見て、色々勉強になりました。学んだことはインカ帝国が滅亡したのは内部から崩壊しているということ。ピサロが突入する前から既にインカ帝国は腐りかけていた。

あらゆる文明、帝国は戦争前に内部崩壊しています。ロータリーもそうならないように、防ぎ秘訣は何かと考えると、やはり「絶えざる新陳代謝」そして「挑戦」です。ぜひロータリーを再び甦らせるために、果敢なる挑戦心を持って、そして新陳代謝を怠らぬにいたりたいと思います。一年間、そういう精神で頑張りたいたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

◆3クラブ合同例会関会長挨拶

皆さんこんばんは。本日はお忙しい中、3クラブ合同例会に参集くださいまして誠にありがとうございます。また、鴨川クラブ様にはいろいろとご配慮いただきましてありがとうございました。

昨年から今年にかけて国内では今までに無く多くの悲惨な災害が起きました。忘れてはいけない教訓を残し、放射能という人類が解決でき得ない問題も露呈しました。また国外に於いても数々の災害がありましたが、災害とは異なり「アラブの春」のような自由を求めた大きなうねりにのった変革があり、いまなお後を引いた殺戮が一部では続いています。

世界経済に於いても大きく変わりました、皆様のご承知の通りユーロ圏での乱れとでも言いますか、いま世界中がかたずをのんで見守っています。そんな激動の中ではありますが、各クラブまた個人においては今までになく奉仕活動に力を入れて来られた素晴らしい1年でもあり、みなさんの心の中が最も豊かになった1年ではなかったかと思います。まさに、「最も奉仕するもの、最も報われる」に値するものだと思います。

今年度の皆様との親睦も今日がラストに成ろうかと思っています。この後の親睦会はおおいに盛り上がるうではありませんか、宜しく願いいたします。

出席報告 5月18日(金)

出席委員会 手塚 明宏 委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
38名	28名	5名	5名	86.84%

欠席：浅野玄航、斎藤義典、林重利、吉野裕子、渡辺保